

大島紬機織技術製本化事業

大島紬部 ○平田清和, 福山秀久
恵川美智子, 徳永嘉美

1. はじめに

大島紬の緋は、世界に類を見ない精緻で独特なもので、その製法は織締め緋と手織りによる産地の独自技術によるもので、地域の文化であるが、製造工程の技術解説書は少なく、業界の技術継承も課題であった。また、当部の前身である大島染織指導所時代、昭和52年度に本場大島紬の製造技術の体系化として本場大島紬製造ハンドブックを発行したが、今回は機織部門の緋締めと製織技術を中心とした。特に、麻の葉柄の大島紬試作を通して製造各工程での見本品を残し、教材資料にすると共に、写真を多く用いた機織技術解説書(図1)の製本化を行ったので紹介する。

なお、本事業は平成23年度緊急雇用創出事業臨時特例基金事業による「大島紬機織技術製本化事業」として実施した。

2. 事業の概要

2. 1 技術解説書製本化方針

大島紬の緋締めと製織技術の詳細について、組写真や図解を多用した基本的な技術解説書の制作を行った。

もっともオーソドックスな15.5算7マルキ1モト緋大島紬をベースに大島紬が出来るまでを再現し、その工程での実物見本を残す。

2. 2 技術解説書内容構成

第1部：序章 概論

第2部：I 緋締め加工編

第3部：II 製織編

第4部：補足資料



図1 刊行した本場大島紬技術解説書
(本誌及び別冊織り見本)

3. 内容

3. 1 第1部：序章 概論

概論として本場大島紬の名称、歴史や分類及び意匠図案として図案工程及び、本場大島紬の製造全般を示す製造工程表を記載。

3. 2 第2部：I 緋締め加工編

準備加工から緋締め加工、染色及び仕上げ加工迄を記載。

3. 3 第3部：II 製織編

製織準備から製織本番や織り上げ後の整理及び用具迄を記載。

3. 4 第4部：補足資料

織の材料としての緋図案から紬原料ができあがるまでと製織の基礎知識を記載。

第2部の拵締め加工編、第3部製織編及び別冊織り見本の内容を図2に示す。

作業工程の手順を写真と解説で分かり易く記述した。



(別冊 織り見本)

(拵締め加工編)

(製織編)

図2 本場大島紬技術解説書内容からの抜粋

実際に製作した、大島紬の図案・反物・仕立て上げ着物製品の写真を図3に示す。



(左：織り上げた反物，右：図案)

(仕立て上げ着物製品)

図3 大島紬図案・反物・仕立て上げ着物製品

4. おわりに

伝統産業でもある大島紬は、和装需要の減少や従事者の高齢化など技術の継承へも不安を残し、厳しい状況である。今回の機織技術解説書発刊は、製造技術の明文化が遅れていた技術資料について機織工程を中心に製本化したものであり、業界の技術継承に役立てたい。